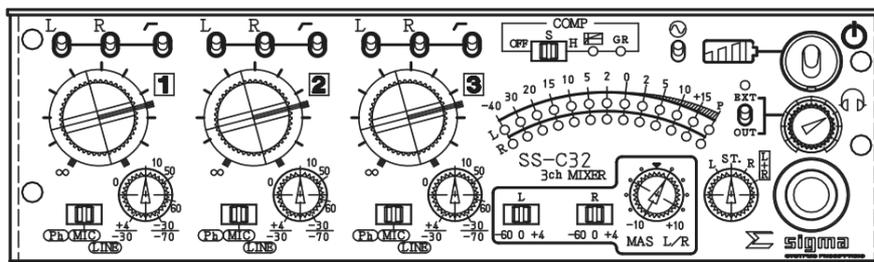


SS-C32

3ch_Audio_Mixer

取扱説明書



安全上のご注意



下記の注意事項は、使用者及び、周囲の人々への危機や財産への損失を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を記しています。

■ 外部DC電源による駆動について

- ・ 11V～17Vの外部DC電源をご使用ください。
- ・ DC電源コードを接続するときはプラス、マイナスの極性を間違えないようご注意ください。
- ・ DC電源コードを抜き差しするときは、コードを引っ張らないでください。
- ・ 長期間使用しないときは、DCプラグを抜いてください。

■ 電池による駆動について

- ・ 市販の1.5V単三電池（アルカリ乾電池、ニッケル水素乾電池）4本を使用してください。
- ・ 電池の極性を確認して挿入してください。
- ・ 使用するときは電池カバーを閉めてください。
- ・ 長期間用しないときは電池を取り外して保管してください。

■ 使用環境について

- ・ 湿気やホコリが極端に多い場所で使用しないでください。
- ・ 水や雨、加湿器の近くなど、濡れやすい場所では使用しないでください。
- ・ 暖房機やコンロの近くなど、熱源の近くでは使用しないでください。

■ 製品の取り扱いについて

- ・ 製品の中に線材のような金属物や水を入れしないでください。
- ・ 製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- ・ 製品の上に乗ったり、物を置いて保管しないでください。
- ・ 不安定な台の上や、傾いたり振動の大きい場所に設置しないでください。

■ 製品の改造について

- ・ 本製品は完全調整していますので、分解、改造はしないでください。

■ お手入れについて

- ・ 清掃するときは、シンナーやペンジンを使用しないでください。ケースが変質したり、塗装がはげる原因になります。普段は柔らかい布でカラ拭きしてください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、良く絞って拭いて下さい。
水で薄めた中性洗剤で拭いた場合は、完全に乾いた状態であることを確認してください。

■ 故障について

- ・ 故障や異常が発生した場合は、すぐに電源を切って、外部電源及び、乾電池を取り外し、接続ケーブル類も外して下さい。
「製品のシリアルナンバー」、「故障、異常の詳細な症状」をお買い上げの販売店または弊社営業サービス部門までご連絡ください。

安全上のご注意.....	02
目次.....	03
はじめに.....	04
各部の名称.....	05
電源のセット	
外部DC電源を使用する.....	06
内部電源（乾電池）を使用する.....	06
電源の投入	
電源のON/OFF.....	07
[Power] インジケータ.....	07
電池の自動判別機能について.....	08
外部機器の接続	
マイクの接続.....	09
カメラへの接続.....	09
カメラからの出力を接続.....	09
ヘッドホンの接続.....	09
本体の機能（INPUT）	
[INPUT_GAIN] ボリューム.....	10
[MIC/LINE] 選択スイッチ.....	10
[INPUT] ボリューム.....	11
[L/Rch_バスアサイン] スイッチ.....	11
[ローカットフィルター] スイッチ.....	11
本体の機能（OUTPUT）	
[L/R_OUTPUT_MASTER] ボリューム.....	12
[L/R_OUTPUT] レベル選択スイッチ.....	12
[オシレーター] スイッチ.....	12
本体の機能（COMPRESSOR）	
[コンプレッサー] スイッチ.....	13
[コンプレッサー] インジケータ.....	13
[ゲインリダクション] インジケータ.....	13
本体の機能（VUMETER, HEADPHONE_OUT）	
VUMETER.....	14
[HEADPHONE] 接続端子.....	14
[HEADPHONE_OUT] ボリューム.....	14
[HEADPHONE] 回線選択スイッチ.....	14
本体の機能（EXT_MONITOR）	
[EXT_MONITOR] 切り替えスイッチ、インジケータ.....	15
系統図.....	16
外観図.....	17
定格仕様.....	18

はじめに

「SS-C32」は「KS-T2000」の後継機として開発された、ポータブル型3チャンネルミキサーです。

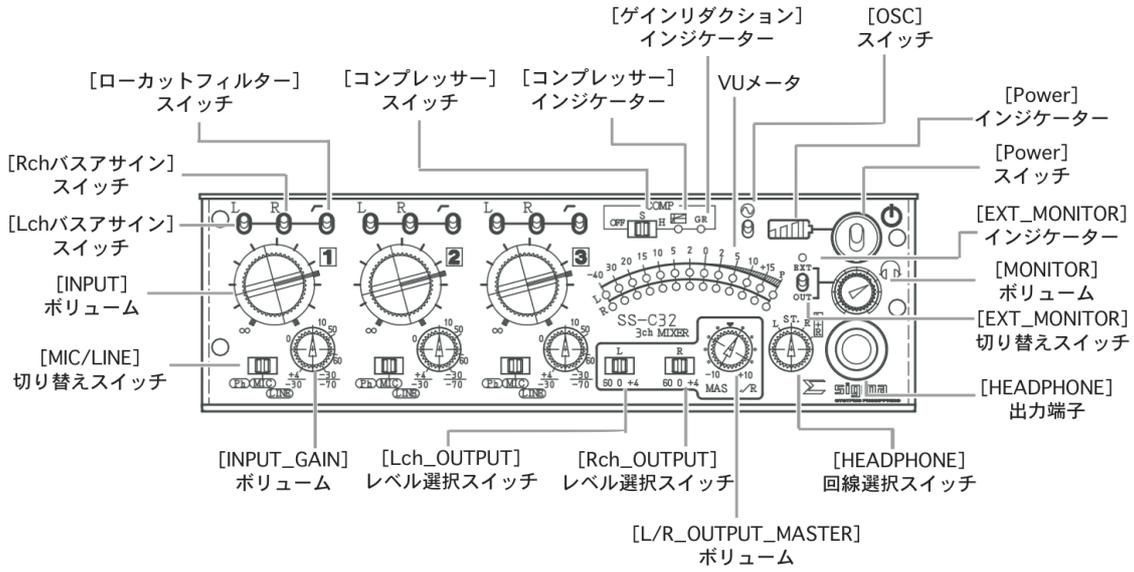
従来機種同様、ヘッドアンプ調整、ミキシングバス選択を行うだけで運用可能なシンプルな構成になっており、素早く簡単にミキシングが可能です。また、小型かつ軽量なので、機動性が必要な製作、取材現場等に最適な機種です。

- 「SS-C32」はデジタル処理ミキサーですが、パネル面にスイッチ、ボリュームを全機能設けており、アナログミキサーと変わらない使用感を実現しています。
- 新たに採用した電源回路により、バッテリー運用時でも本線、モニター系統ともにダイナミックレンジが低下せず、外部DC電源運用時と同等の性能を発揮できます。
- LED型のVUメーターは、指針型メーターに近い時定数を持ち、従来通りのミキシングが可能です。
- 新たに搭載された2種類の[OUTPUT]コンプレッサーは、予めデフォルト値のセッティングがプログラムされている為、簡単に運用可能です。
- カメラからのフィードバック専用の入力回線を設けているので、カメラリターンを簡単にモニター可能です。
- 電源は、バッテリー運用のほか、外部DC_IN (+11.0~17.0V)用にキャノン4pinコネクタを設け、長時間運用に対応しています。
- バッテリー運用は、アルカリ、ニッケル水素電池に対応し、単三乾電池4本(4.2~7.0V)で運用が可能です。外部電源とバッテリーの両方挿入時は、バッテリーがバックアップとして機能します。
また、バッテリー運用時のパワーインジケータは、アルカリ、ニッケル水素電池を自動で判別し、両方の電圧推移に対応します。(新品電池使用時)

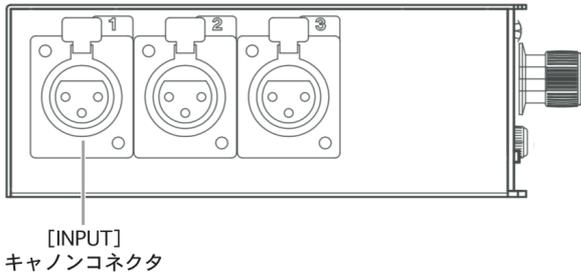
ご利用の際には取り扱い説明書お読みいただき、本機の性能を十分に発揮していただくとともに、末長くご愛用いただけますようお願い申し上げます。

各部の名称

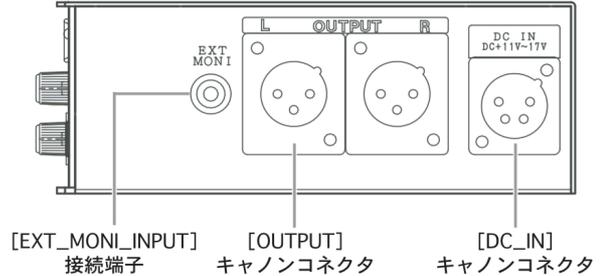
【フロントパネル】



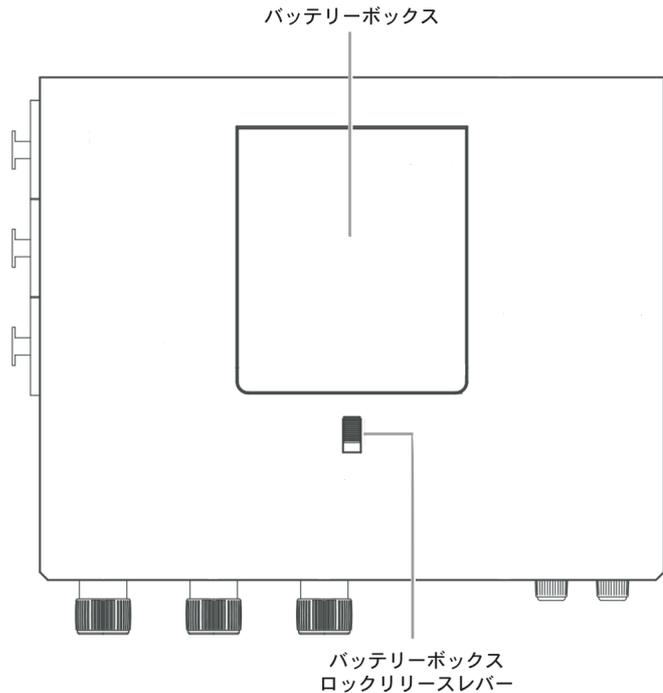
【左側面】



【右側面】



【本体上面】



電源のセット

本機の電源供給方式には“バッテリー（乾電池）”、“外部DC電源”の2種類あります。
“[POWER] スイッチ”を「OFF」（下向き）にしてから電源のセットをしてください。

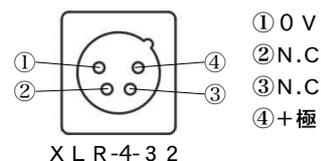
■ 外部DC電源を使用する

本体右側面の“[DC_IN] キャンノコネクタ”にACアダプター・外部バッテリーを接続します。e

ACアダプター・外部バッテリーは、下記の条件を満たすものが使用できます。

プラグ形状： キャンノ4pinコネクタ
XLR-4-11C（メス）タイププラグ
ピン接続： 1pin... 0V
4pin... 「+」極
DC出力電圧： +11.0~17.0V（電源容量1A以上）

[DC_IN] キャンノコネクタ



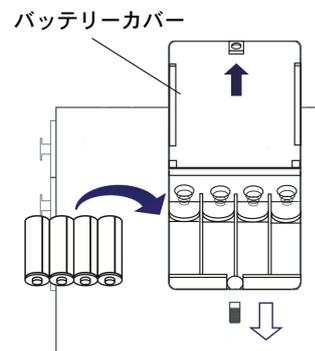
⚠ 外部DC電源ご使用のご注意

外部DC電源入力は極性を十分ご確認ください。
極性を間違えると内部回路を破損する恐れがあります。
ご使用の際は、上記の条件をご確認の上、正しく接続されるようお願いいたします。
上記以外の条件でご使用になりますと、火災・破裂・故障の原因となります。

■ 内部電源（乾電池）を使用する

本機は、単三型のアルカリ電池、又はニッケル水素電池（4本）で駆動することができます。

- （1）本体上面の“バッテリーボックスロックリリースレバー”を矢印の方向にスライドさせるとロックが外れバッテリーカバーが開きます。
- （2）乾電池の極性（+、-）の向きを表示に合わせ、本体上面の“バッテリーボックス”に入れます。
- （3）バッテリーカバーを「カチッ」と音がするまで押し込んで閉めます。

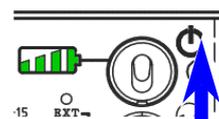


⚠ 乾電池ご使用の注意

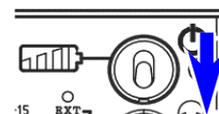
乾電池は、4本とも同一条件の単三型乾電池をご使用ください。
乾電池の極性（+、-）の方向は正しい向きで装着してご使用ください。
長い間、ご使用にならない場合は、乾電池をケースから取り出してください。
上記の条件以外でご使用になりますと、火災、破損、故障の原因になり大変危険です。

■ 電源のON/OFF

(1) 本機のコネクターパネルにある“[POWER] スイッチ”を上に倒すと電源がONになります。電源がONになると“[POWER] インジケーター”が点灯します。



(2) “[POWER] スイッチ”を下に倒すと電源がOFFになります。電源がOFFになると“[POWER] インジケーター”が消灯します。



■ [POWER (パワー)] インジケーター

本機の“[POWER] インジケーター”は、電源供給方法により、点灯方式が変化します。また、電源降下時の警告表示機能を兼ねており、規定電圧以下になると点滅表示します。

- (1) 外部DC電源（キャノン4Pinコネクタ）[EXT]からの電源供給
“[POWER] インジケーター”が1ポイントずつ点灯し、電源電圧の値を指示します。
- (2) 電池ボックスによる乾電池[INT]からの電源供給
“[POWER] インジケーター”が複数ポイント点灯し、電池残量のインジケーターとして機能します。
- (3) 終止電圧の警告
左端1ポイントの点灯から終止電圧付近まで電圧降下すると、“[POWER] インジケーター”が点滅し、“HEADPHONE_OUT”から警告音が出力されます。

⚠ [POWER] インジケーター点滅の際は、速やかに電池の交換をお願いいたします。

点灯ポイント	外部DC電源電圧 (V)	点灯ポイント	ニッケル水素残時間 (h)	アルカリ残時間 (h)
	+17.0~14.8		5.5~3.0	4.5~3.0
	+15.0~13.3		3.5~1.5	3.5~1.5
	+13.5~11.8		2.0~0.5	2.0~0.5
	+12.5~11.0		1.0~0.2	1.0~0.2
	11.2V以下		0.5~0	0.5~0

※電池運用時の残時間は、本体の負荷条件や電池の状態によって変動します。

電源の優先順位、バックアップについて

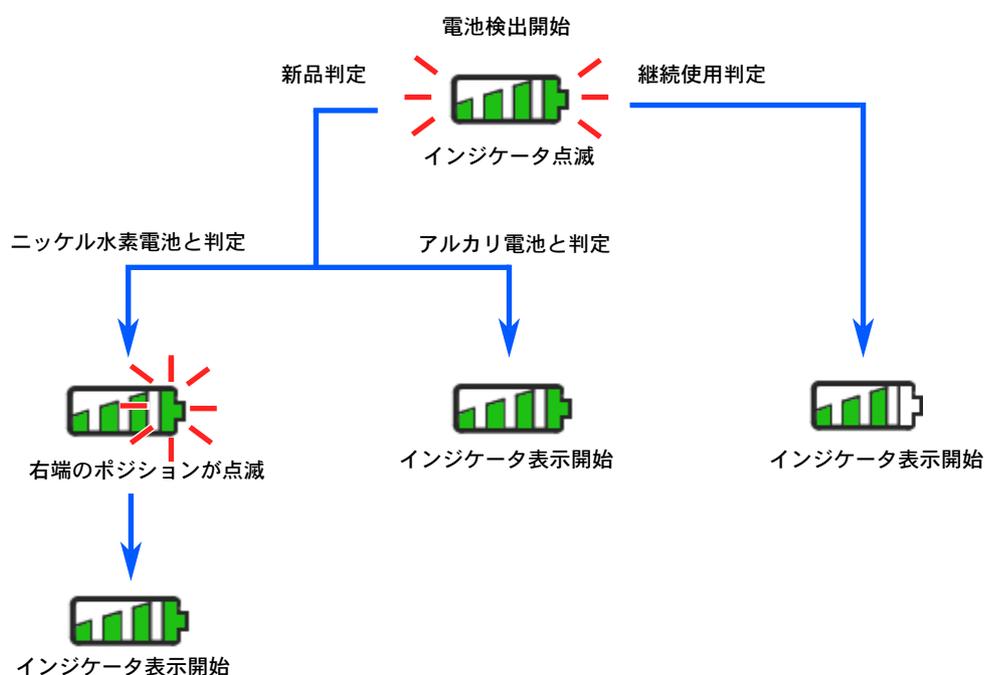
乾電池入力と外部DC入力の両方から電源を供給した場合、外部DC入力が優先されますが、外部DC電源からの供給電圧が切断された場合、バックアップ供給として乾電池入力に自動で切り替わります。外部DC電源を使用せず、バッテリー入力をお使いになる場合は、外部DC電源を抜いてご使用下さい。

電源の投入 ②

■ 電池の自動判別機能について

「SS-C32」は電池運用の際に、アルカリ、もしくはニッケル水素乾電池を自動判別し、電池残量の表示をする機能を備えています。

- (1) 電源投入時、インジケータが点滅している間、前回使用時（電源OFF時）のバッテリー電圧と比較して、新品、もしくは継続使用であるかを判別します。
上記の検出の後、計測した電圧を元に、アルカリ、もしくはニッケル水素電池のどちらが挿入されているかを判別します。
- (2) (1)の計測後、ニッケル水素電池と判定された場合、一定時間右端のポジションが点滅し、その後インジケータ表示を開始します。
アルカリ電池と判定された場合、すぐにインジケータ表示を開始します。
- (3) 継続使用と判定した場合、前回使用時の情報を引き継いでインジケータを表示します。

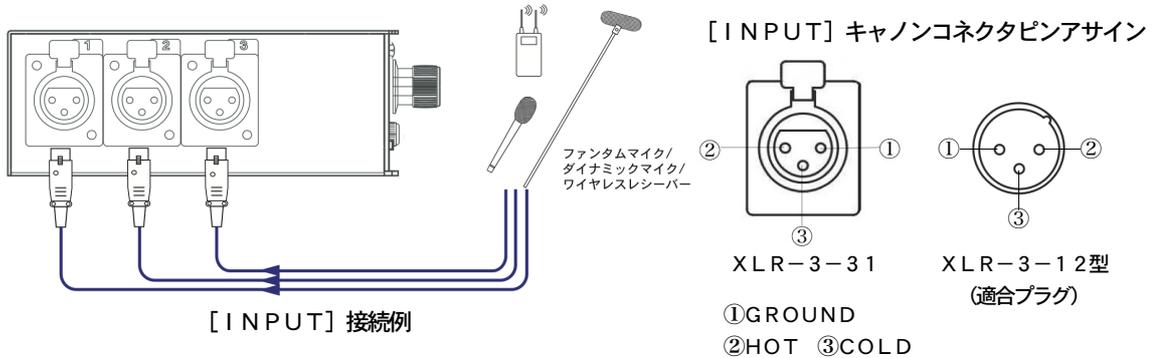


電池ボックスによる乾電池運用（INT）の注意点

- ・ バッテリー交換の際は、新品のアルカリ電池、もしくは満充電のニッケル水素電池をご使用ください。使用途中の電池を挿入すると、正しく検出できない恐れがあります。
- ・ 電池は4本とも同一の状態のものをご使用ください。新品の中に使用途中の電池が混入していると、急激な電圧降下が発生する恐れがあります。
- ・ 使用回数の多いニッケル水素電池は、急な電圧降下が発生する恐れがございますのでご注意ください。

■ マイクの接続

ダイナミックマイク、コンデンサーマイクを接続する場合は、キャノンプラグを“ [INPUT] キャノンコネクタ” (1~3ch) に接続します。コンデンサーマイクにはファンタム電源 (P48形式) を供給することも可能です。(INPUT詳細 → P.10,11)

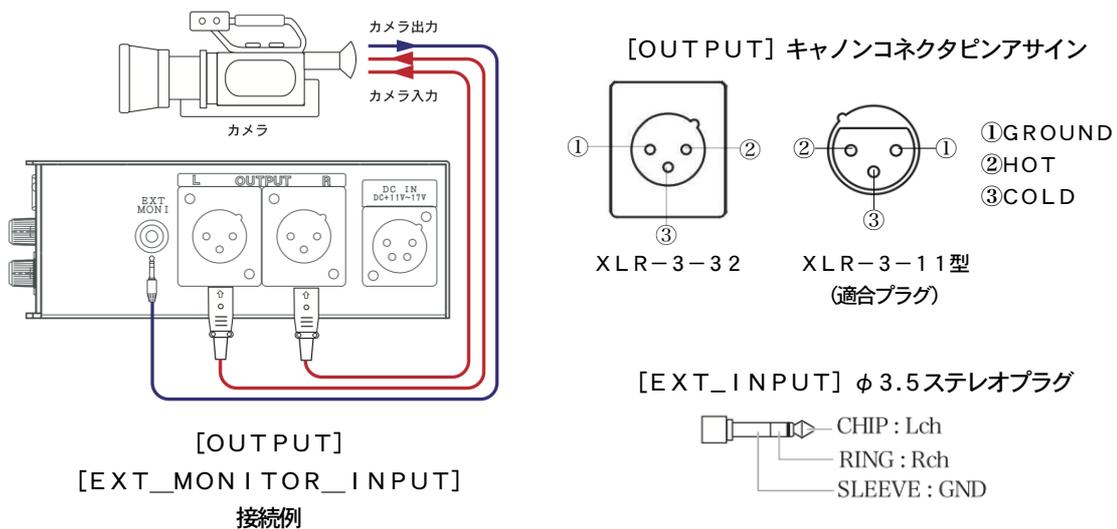


■ カメラへの出力

カメラへの出力を接続する場合は、キャノンプラグを“ [OUTPUT] キャノンコネクタ” に接続します。“OUTPUT” は電子バランスアウト (トランスレス) です。出力レベルは“ [L/R_OUTPUT] レベル選択スイッチ” で設定し、“ [L/R_OUTPUT_MASTER] ボリューム” で出力レベルが調整可能です。(OUTPUT詳細 → P.12)

■ カメラからの出力を接続

カメラからの出力を接続する場合は“ [EXT_MONITOR] INPUT” に接続します。“EXT_MONITOR” はカメラからのリターンモニター専用の入力です。“ [EXT_MONITOR] 切り替えスイッチ” をONにすると、HEADPHONE_OUT が、本線OUTPUT_L/R系統から、EXT_MONITOR系統に切り替わります。(EXT_MONITOR詳細 → P.15)



■ ヘッドホンの接続

ヘッドホンは“ [HEADPHONE] 出力端子” に接続します。φ6.3mmのTRSステレオプラグに適合します。(HEADPHONE説明 → P.14)

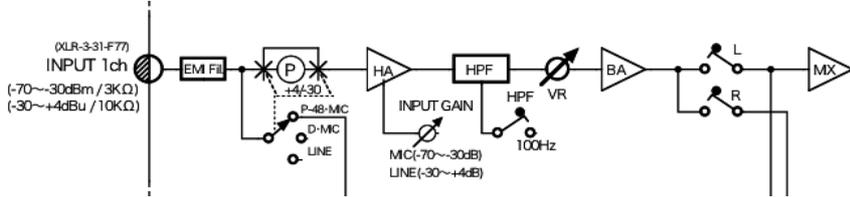


本体の機能 (INPUT) ①

【INPUT (インプット)】

「SS-C32」は、入力3チャンネルを備えており、各ヘッドアンプのゲイン調整は“[MIC/LINE] 切り替えスイッチ”、“[INPUT] GAINボリューム”で行います。

各入力チャンネルの専用ヘッドアンプは、“MIC”レンジで約26dB以上、“LINE”レンジで約20dBのヘッドルームを有しており、ミキシング作業における絞りきり方向のマーヅンを確保し、余裕のあるフェーダー（[INPUT] ボリューム）操作が行えるよう設定しています。



[INPUT] ブロック系統図

《仕様》

- 入カインピーダンス： [LINE] 10kΩ [MIC] 3.0kΩ
- 定格入力： [LINE] +4~-30dBu [MIC] -30~-70dBm (600Ω適合)
- ヘッドマヅン： [LINE] +20dB [MIC] +26dB
- ・バランス入力 (トランスレス) ・XLR-3-12型プラグに適合 (コネクタ仕様A type)
- ・ファンタム電源 (P-48形式) 搭載

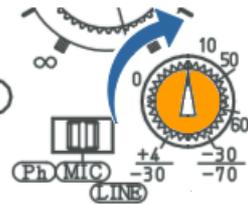
■ [INPUT_GAIN (インプット_ゲイン)] ボリューム

各チャンネルの [MIC/LINE] レベル兼用の入カゲイン調整ボリュームです。

- [MIC] [PH] -30~-70dBm
- [LINE] +4~-30dBu

上記の範囲で、入カゲインの調整が行なえます。

ゲインレンジの設定は、“[MIC/LINE] 選択スイッチ”で行います。



GAINボリューム

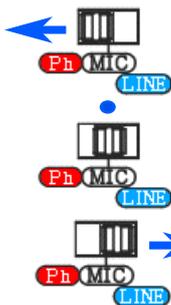
定格レベルのゲイン調整について

“[INPUT] ボリューム”が赤線の位置 (10dB) のポジションにおいて、“VUMETER”が0VUを指示する様にGAINボリュームを調整すると、ミキサー内のレベルダイアが定格レベルに設定できます。

定格レベル近辺に設定すると、余裕を持ったダイナミックレンジが確保され、音質、S/Nにおいても適性な運用が行なえます。

■ [MIC/LINE (マイク/ライン)] 選択スイッチ

各チャンネルのゲインレンジ設定及び、ファンタムマイク電源のスイッチです。



[Ph] P-48Vファンタムマイク用の電源を“[INPUT] キャンコネクタ”に印加します。

[MIC] ダイナミックマイクロフォンを接続時に選択します。

[LINE] +4~-30dBuの出力レベルの機材を接続する際に選択します。

⚠ ファンタム電源供給のご注意

ご使用のマイクロフォンの電源方式をご確認の上、設定してください。

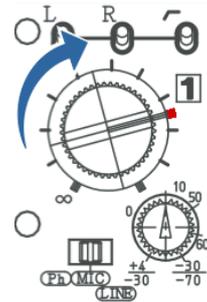
ダイナミック型マイクロフォンや電源方式の違うマイクロフォンを接続してマイク電源を供給すると、マイクロフォンと本機を破損する恐れがあります。

■ [INPUT] ボリューム

各入力チャンネルのミキシング音量を調整するボリュームです。

“ [INPUT] ボリューム ” は、Logカーブアッテータ方式を採用しており、10dBポジション（2時の位置）で、0VU（定格出力レベル）になります。（入力レベルとゲインボリュームのレベルが一致した場合）

“ [INPUT] ボリューム ” の位置が0～-20dBの範囲で運用されるとき、歪みのない音質の良いミキシングが行えます。



[INPUT] ボリューム

■ [L/Rch_バスアサイン] スイッチ

各チャンネルの、ミキシングバスへの送出スイッチです。

スイッチを上倒すと、選択したミキシングバスに入力信号を送ります。



L/Rch バスアサイン "OFF"



Lch バスアサイン "ON"



Rch バスアサイン "ON"

入力ヘッドアンプ電源コントロール機能について

「SS-C32」は、L/Rch両方のバスアサインをOFFにすると、ヘッドアンプ回路の電源をOFFにする機能が搭載されています。

本体の消費電流を抑えるために、使用しないチャンネルのバスアサインスイッチはOFFにすることを勧めます。

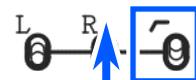
■ [ローカットフィルター] スイッチ

各チャンネルのローカットフィルタの設定スイッチです。

低域をカットして風雑音やマイクのグリップノイズ等を低減します。

スイッチを上倒すと、該当チャンネルのローカットフィルタがONになります。

フィルタ特性は、カットオフ周波数100Hz [-12dB/oct]です。

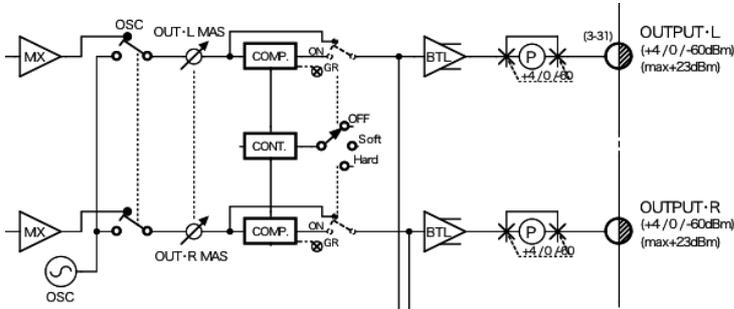


ローカットフィルタ "ON"

本体の機能 (OUTPUT)

【OUTPUT (アウトプット)】

「SS-C32」の出力部は2ミックスバス構成、2系統(L/R)出力です。
 “OUTPUT_L/R”は電子バランスアウト(トランスレス)になっており、600Ω負荷において、定格出力レベルが得られます。



[L/R_OUTPUT] ブロック系統図

《仕様》

- 出力インピーダンス : 40Ω
- 定格出力 : +4, 0, -60 dBm (600Ω負荷)
- 最大出力 : +23 dBm (+19 dB)
- ・電子バランス出力(トランスレス)
- ・XLR-3-1型プラグに適合 (コネクタ仕様 A t y p e)

■ [L/R_OUTPUT_MASTER (アウトプット_マスター)] ボリューム

L/R兼用の出力マスターボリュームです。
 センターポジションが0 dBで、レベル可変範囲は±10 dBです。1 dBステップで調整が可能です。



[L/R_OUTPUT MASTER] ボリューム

■ [L/R_OUTPUT] レベル選択スイッチ

“OUTPUT_L/R”の定格出力(0 VU)レベルを選択するスイッチです。
 いずれも600Ω負荷の条件で定格出力が得られます。

<p>L 600 +4</p>	<p>R 600 +4</p>	<p>➡ [+4] 出力レベルが+4.0 dBmに設定されます。ハイインピーダンス場合、約+0.6 dBレベルが上昇します。</p>
<p>L 600 +4</p>	<p>R 600 +4</p>	<p>[0] 出力レベルが0 dBmに設定されます。ハイインピーダンスの場合、約+0.6 dBレベルが上昇します。</p>
<p>L 600 +4</p>	<p>R 600 +4</p>	<p>← [-60] 出力レベルが-60 dBmに設定されます。ハイインピーダンスの場合、約+6.0 dBレベルが上昇します。</p>

■ [OSC] スイッチ

オシレーター(基準信号)の“ON/OFF”スイッチです。
 スイッチを上倒すとレバーが赤色に点灯し、[OUTPUT_L/R]にミックス信号をカットし、正弦波信号を出力します。
 (周波数1 kHz、定格レベル出力)



本体の機能 (COMPRESSOR)

【L/R_OUTPUT_COMPRESSOR (アウトプット_コンプレッサー)】

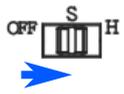
過大信号を圧縮して最大出力音圧を抑えると共に、出力信号に厚みをもたらします。
 コンプレッサーは、出力信号が設定されたスレッシュホールドレベルを越えると動作します。
 信号がスレッシュホールドレベルを越えて動作するまでの時間を「アタックタイム」、信号がスレッシュホールドレベルを下回り、動作が終了するまでの時間を「リリースタイム」といいます。
 「SS-C32」のコンプレッサーは、“Soft”、“Hard”2種類のデフォルトの値がプログラムされており、L/Rチャンネル同時に、同一リダクションレベルで動作します。(ステレオリンク動作)

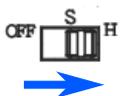
■ 【コンプレッサー】スイッチ

出力コンプレッサーの設定スイッチです。

”Soft”、“Hard”の2種類から選択することができます。

 [OFF] コンプレッサー動作がOFFになります。

 [S] ”Soft”に設定されます。
 スレッシュホールド0dBから緩く働き、圧縮した感覚が目立たないコンプレッサーです。全体の音圧感を上げたい時に使用します。

 [H] ”Hard”に設定されます。
 スレッシュホールドを越えた値を大きく減衰し、ピーク信号を抑えるときに使用します。

◎コンプレッサー特性

《Soft》

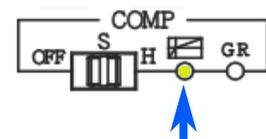
項目	設定値
Threshold	0dB
Ratio	1.5:1
Attack Time	20msec
Release Time	400msec

《Hard》

項目	設定値
Threshold	+5dB
Ratio	3:1
Attack Time	5msec
Release Time	200msec

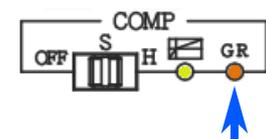
■ 【コンプレッサー】インジケーター

コンプレッサーがS (Soft), H (Hard) どちらかに設定されると点灯します。



■ 【ゲインリダクション】インジケーター

コンプレッサーの動作中、出力信号レベルがスレッシュホールド値に到達し、ゲインリダクションをすると点灯します。

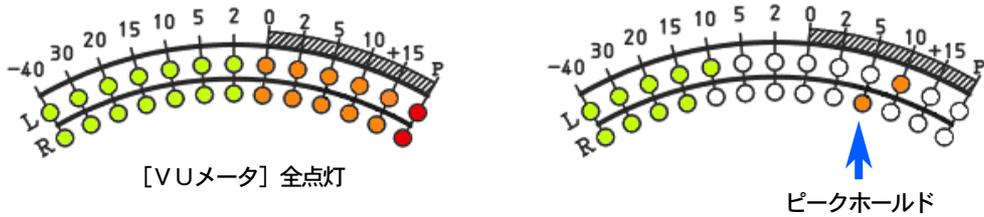


本体の機能 (VUメーター, HEADPHONE_OUT)

■ **VUメーター**

L/Rの“OUTPUT”回線、又は“EXT_MONITOR”回線のレベルを監視できるLED式VUメーターです。指針型メーターと同等の時定数を持っており、近い感覚でミキシングが可能です。

また、ピーク値を一定時間表示することができる“ピークホールド”機能を搭載しています。ピークホールドの表示は、“+2~+15dB”でP(ピークインジケータ)は“+18dB”で点燈します。



【**HEADPHONE_OUT (ヘッドホン_アウト)**】

“[HEADPHONE] 接続端子”にヘッドホンを接続することにより、“OUTPUT”または、“EXT_MONITOR”のステレオモニターが可能です。ヘッドホンアンプは、最大出力レベル+6dBu(適性負荷50Ω)、最大負荷16Ωまでのヘッドホンを接続することができます。

■ **[HEADPHONE] 接続端子**

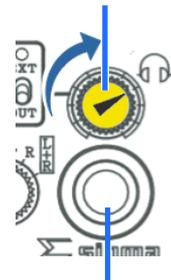
φ6.5TRSプラグのヘッドホンを接続できます。

[HEADPHONE_OUT]
ボリューム

■ **[HEADPHONE_OUT] ボリューム**

ヘッドホンアウトの音量を調整するボリュームです。

負荷50Ωの条件で、突き上げ時のレベルは約“+0dBu”2時の位置で約“-10dBu”です。



[HEADPHONE]
出力端子

■ **[HEADPHONE] 回線選択スイッチ**

“HEADPHONE_OUT”のモニター回線「L/R(ステレオ)」「L」「R」「L+R(モノミックス)」のいずれかを選択するロータリースイッチです。

モニター回線は、[OUTPUT](本線)、[EXT_MONI](外部モニター入力)ともにステレオ仕様です。ヘッドホンでのモニター時、モノラルで運用する場合は、「L」「R」「L+R」を選択します。「L+R」は、ヘッドホン回線のみをミックスします。



[ST]
L/Rchステレオ出力設定です。



[L+R]
L+Rchモノラルミックス出力設定です。



[L]
Lchのモノラル出力設定です。

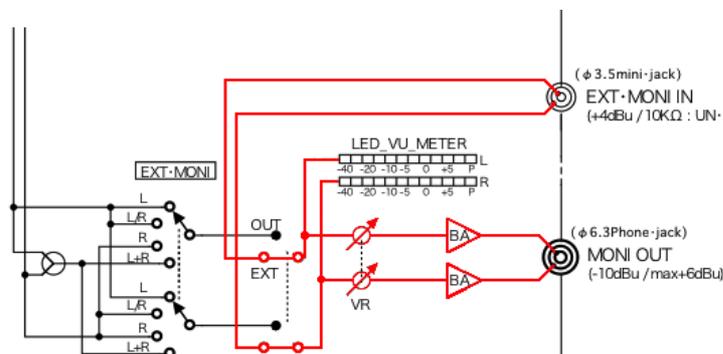


[R]
Rchのモノラル出力設定です。

機能説明 (EXT_MONITOR)

【EXT_MONITOR_INPUT (エクスターナルモニターインプット)】

「SS-C32」にはカメラからのモニターリターンを受けとることができる“EXT_MONITOR_INPUT”が搭載されています。“EXT_MONITOR_INPUT”で入力された信号は、“[EXT_MONITOR] 切り替えスイッチ”をONにすることにより、“HEADPHONE_OUT”でモニターすることができます。“EXT_MONITOR”は、本線には送出されないモニターシステム専用の回線です。



EXT_MONITOR (エクスターナルモニター) 系統図

《仕様》

- 入力インピーダンス : 10 k Ω
- 定格入力 : +4 dBu
- 最大入力 : +23 dBu
- ・ステレオアンバランス入力
- ・ ϕ 3.5 TRS プラグに適合

- 【EXT_MONITOR】切り替えスイッチ、インジケータ
EXT_MONITOR_INPUTのON/OFFスイッチです。
スイッチを上を倒すと、インジケータが緑色に点燈し、“EXT_MONITOR”回線に切り替わります。

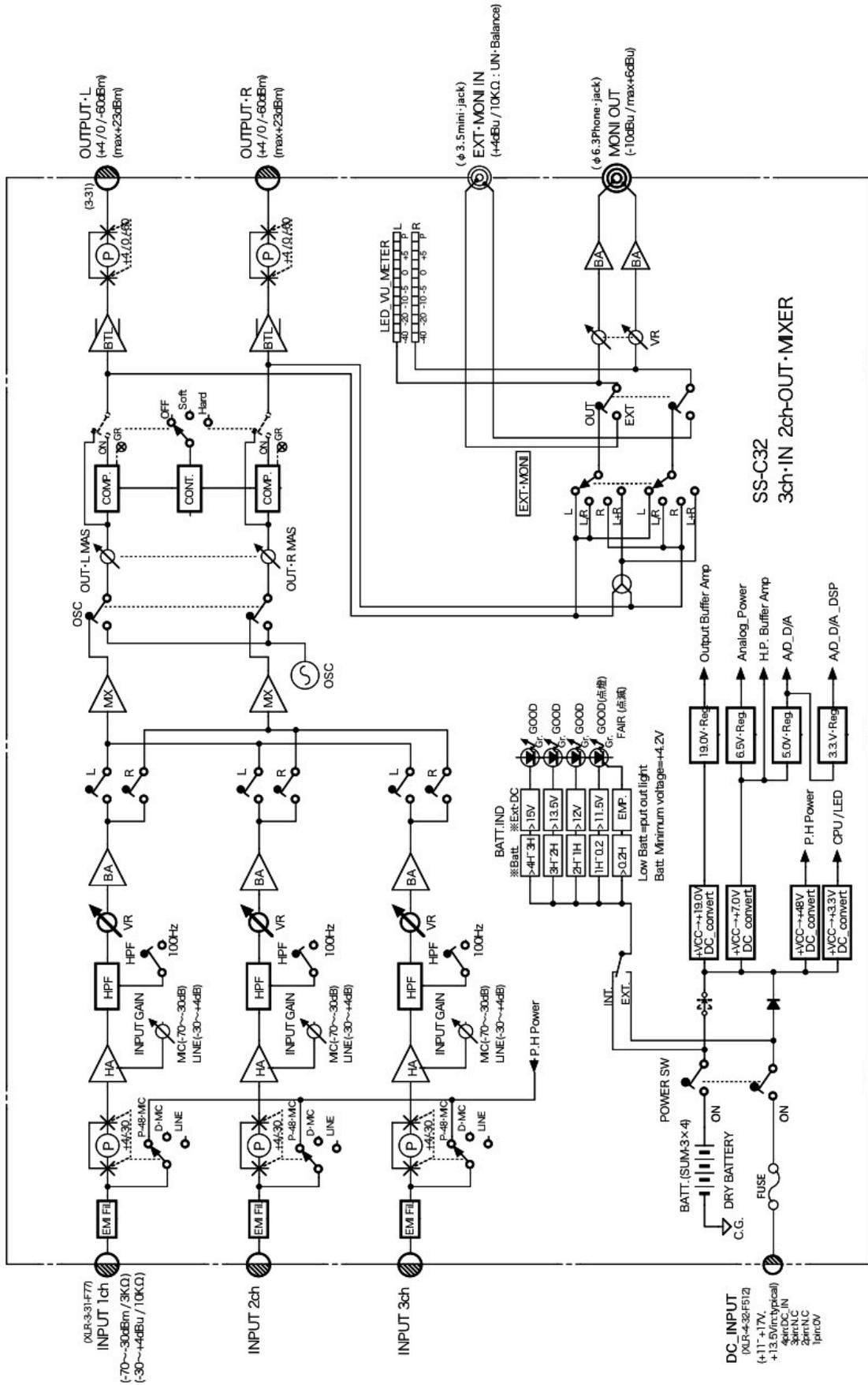
[EXT_MONITOR]
インジケータ点燈



EXT_MONITOR
“ON”

ヘッドホンから音がでない場合

“[EXT_MONITOR] INPUT”に入力ソースが無い状態で“EXT_MONITOR”がONになっていると、ヘッドホン出力が無音になります。
ヘッドホンから音が出ない場合は、“[EXT_MONITOR] インジケータ”で“EXT_MONITOR”がONになっていないかご確認ください。



定格仕様

<仕様>

1) 入力系統			
1. 定格入力レベル	(M I C)	- 3 0 ~ - 7 0 dBm (連続可変)	
	(L I N E)	- 3 0 ~ + 4 d B u	
2. 入力インピーダンス	(M I C)	3.0 K Ω \pm 1 0 % (トランスレスバランス入力)	
	(L I N E)	1 0 K Ω \pm 1 0 % (トランスレスバランス入力)	
	(E X T _ M O N I)	1 0 K Ω \pm 1 0 % (アンバランス入力)	
2) 出力系統			
1. 定格出力レベル	(MAIN)	+ 4 dBm (電子バランス出力、最大負荷 6 0 0 Ω)	
	(H.P_MONI)	- 1 0 dBu (アンバランス出力、負荷 5 0 Ω にて)	
2. 最大出力レベル	(MAIN)	+ 2 3 dBm (負荷 6 0 0 Ω にて)	
	(H.P_MONI)	+ 6 dBu (負荷 5 0 Ω にて)	
3) 総合特性			
1. 周波数特性	(MAIN)	5 0 Hz ~ 1 5 KHz + 0.5 / - 1.0 dB (定格レベル、負荷 6 0 0 Ω にて)	
	(MONI)	5 0 Hz ~ 1 5 kHz + 0.5 / - 1.0 dB (定格レベル、負荷 5 0 Ω にて)	
2. ノイズ (S/N)	(M I C)	5 6 dB以上 (2 2 KHz L P F 使用、ゲイン ' - 7 0 ' ポジション 定格出力にて)	
	(LINE)	7 6 dB以上 (2 2 KHz L P F 使用、ゲイン ' + 4 ' ポジション 定格出力にて)	
	(MONI)	6 8 dB以上 (2 2 KHz L . P . F . 使用、定格レベルにて)	
3. 歪率 (T.H.D)	(MAIN)	0.3 %以下 (5 0 Hz ~ 1 5 KHz、ゲイン ' - 6 0 ' ポジション 定格出力にて)	
	(LINE)	0.1 %以下 (5 0 Hz ~ 1 5 KHz、ゲイン ' + 4 ' の設定、定格出力にて)	
	(MONI)	0.1 %以下 (5 0 Hz ~ 1 5 KHz、定格出力にて)	
4) 付属機能			
1. ファンタム電源		P - 4 8 方式	
2. モニター系統		ヘッドホン出力 (ステレオ 6.3 ϕ TRS プラグに適合) E X T , M O N I 入力 (ステレオ 3.5 ϕ TRS プラグに適合)	
3. L . C . F		1 0 0 H z (- 1 2 d B / o c t)	
4. O S C		1.0 k H z (\pm 5 %)	
5. O U T P U T , C O M P		「 S o f t 」 、 「 H a r d 」 モード選択	
5) 電源			
1. 電源	(外部)	D C + 1 1.0 ~ 1 7.0 V (X L R - 4 - 3 2)	
	(内部)	単 3 乾電池 (L R 6 , N i - M H) \times 4 本	
	バッテリー終止電圧 ;	外部電源優先供給、外部電圧降下時、乾電池にて自動給電 + 4.2 V 以下 (パワーインディケータ 4 ポイント搭載)	
2. 消費電流 (定常)		\approx 0.3 5 A	
	(最大)	(電源電圧 4.8 V、定格出力、ファンタムマイク使用にて) \approx 0.6 0 A	
3. バッテリー運用時間		(電源電圧 4.8 V、最大出力、負荷 6 0 0 Ω にて) 5.0 H 以上 (満充電のニッケル水素電池を実装 2 0 ~ 4 0 $^{\circ}$ Cにて) 4.0 H 以上 (アルカリ乾電池実装、2 0 ~ 4 0 $^{\circ}$ Cにて) 注 : ファンタムマイク接続時 (ファンタム電流 \approx 2 mA) 負荷 6 0 0 Ω 、定格レベル連続出力にて	
6) 外形			
1. サイズ		W 1 5 9 \times D 1 2 8 \times H 4 8 (突起物含まず)	
2. 重量		\approx 1.0 Kg (内蔵電池含まず)	

※当取り扱い説明書の内容は、今後の改良、改善、仕様変更等によって予告無く内容を変更する場合がございます。

株式会社 シグマシステムエンジニアリング

■本社

〒169-0072

東京都新宿区大久保 3-5-2

TEL : 03-3204-2611 (代表)

FAX : 03-3204-2250

Web : www.kamesan.co.jp

e-mail : eigyو.kamesan.co.jp

■埼玉事業所

〒356-0051

埼玉県ふじみ野市亀久保 1154-51(株) ヒラタ埼玉工場内

TEL : 049-257-4866 (サービス部門)